

二度目の

緊急事態宣言に思う

市長 明智 忠直



新年がスタートして1か月、依然として衰えない新型コロナウイルス感染症。早く例年どおりの生活や行事ができるようになりたいと願っていた矢先に、2回目の緊急事態宣言が発出されました。市でも予定していた行事のほとんどが中止せざるを得ない状況になり、その中でも特に苦渋の決断をしたのが成人式でありました。昨年、一生に一度の記念行事はなんとか行いたいとの思いから、金婚式を実施したところ好評の声をいただき、やって良かったと実感したものでした。成人式も最後まで諦めずに計画していましたが、感染が拡大する中、帰省する新成人や家族のほか、関係者などのさまざまな感染リスクを考え、中止の決断をいたしました。もちろん延期についても考えましたが、コロナの収束が見えない状況で開催を先延ばしすること

は、さらに新成人や関係者の気苦労になるとの思いから断念しました。

現在、意見発表や恩師の言葉などをまとめた記念冊子を、記念品と一緒に市内の全ての新成人に配布しようと、準備を進めているところであります。成人を迎えた皆さまをはじめ、ご両親や関係する方々にはご理解をいただければと思います。

今回の緊急事態宣言は、対象となった都府県に対し、飲食店関係への営業時間の短縮要請や、不要不急の外出の自粛、テレワークや時差出勤を推進していくことなどです。人の流れや接触を極力減らす措置が主であります。テレビなどでは宣言以降もあまり人出が減少していない状況が報じられています。若い人たちへのインタビューでは「感染しても軽症で済む」といった、危機感のない発言もありました。国民全体が協力しなければ、以前の生活に戻れる日は遠いと思います。一人一人が感染防止に真剣に取り組み、一刻も早くコロナから脱却しましょう。